

この日は出品する1品を絞り込むための試食会が行われ、棚野町長をはじめ、町内各団体の方々14人に試食してもらい、アンケート形式で意見を集めました。コンテスト出場のためということもあ

り試食も真剣に行われ、アンケート用紙にはびっしりとアドバイスの書かれていました。今回のアンケートを基に話し合い、出品するメニューを決めるそうです。コンテストの本戦では最大でも5人という少ない人数で300食を用意しなければならぬことから、漆崎シェフは「少ない人数でも大量に作ることで味がぶれにくいメニューを選んだほうがいい」とアドバイスをしました。

レシピ作りや材料の切り方、調味料の合わせ方などをアドバイスしたそうです。



▲試食会では自分たちの考案したメニューをPRしました。



▲念入りに味付けをチェックする漆崎シェフ

書類審査を通過した場合、10月に音更町で行われる本戦に出場することになります。白糠町を大いにPRするためにもぜひ本戦に出場してほしいですね。

### 乳児ふれあい体験学習 (6/30)



赤ちゃんとの触れ合いを通して命の大切さを認識するとともに、赤ちゃんの成長や育児について学び、将来、親となって子どもを産み、育てる際の心構えを身に付けることを目的とした『乳児ふれあい体験学習』を行いました。

この授業を受けた2年生34人は、町の保健師から赤ちゃんの特徴について説明を受けた後、廣橋知希ちゃん（10カ月）と母親の泉さん、佃虎汰郎ちゃん（5カ月）と母親の菜々さんの協力を得ながら、赤ちゃんに触れ合いました。

お母さんたちは赤ちゃんのへその緒や妊娠中のエコーの写真などを見せながら、妊娠中や出産時、現在の育児の様子について話し、「出産時の痛みはどんな感じですか。夜泣きはどれくらいするんですか」などの生徒からの質問にも丁寧に答えていました。参加した生徒たちは「赤ちゃんはかわいいけど、育てていくことは大変だということがよく分かった。今日の体験を通してより一層赤ちゃんが欲しくなりました」と感想を述べていました。

廣橋さんは「生徒のみなさんも真剣に話を聞いてくれて楽しく交流することができた」佃さんは「高校生も笑顔で子どもと接してくれてとても楽しかった。この体験が将来の役に立ってくれたらうれしいです」と笑顔で話していました。